

在籍する小樽商科大の友人と立ち上げた学生ベンチャー企業「Portaru(ポータル)」の代表を務め、昨年12月に小樽市の繁華街・花園にあるビルに学生向けのシェアハウスを開業した。建物を所有する札幌の不動産企画会社と業務提携し、運営を担う。「若者の力で小樽に新たな活気を与えたい」

シェアハウスは4階建てビルの3階に開業し、最大15人が入居できる。商大生の約7割が札幌など市外から通い、駅と学校の往復だけで街との接点が少ないと感じて発案した。「短期でも小樽に住む楽しさを知ってほしい。街に背を向けてはもったいない」と言い、自身も美家のある札幌から移り住んだ。

起業のきっかけは1年のときに受けた小樽の活性化について考える半年間の授業だった。学生がイベントや個人宅に出向いて雑務をこなす「商大生レンタル」を考案したが、「物足りない」と授業終了後も有志で活動を継続し、3年になった2020年4月にポータルを設立した。

ビルの活用事業をこれまでの

シェアハウスを開業した大学生

うたはら だいご
歌原 大悟さん



(谷本雄也)

集大成とし、別の階では今年4月をめどにカフェバーやゲストハウスも始める予定だ。近くクラウドファンディングで資金を集める計画もある。「出会いやアイデアがどんどん生まれる場所にしていきたい」と意気込む。

ビルは「Tug-B(タグビル)」と命名した。小さくても大きな船を動かすタグボートになぞらえ「面白い未来へ引つ張る施設でありたい」。事業に集中するため昨年3月から休学中だ。22歳。問い合わせはメール info@tug-b.com。

ひと 2022

小樽市制施行100年の出来事

※敬称略。市の小樽市のあゆみをとを記す。作成日2022年

1 市制施行(8月1日)

2 小樽河川完成

3 小樽球技場が創設

4 小樽球技場が創設

5 小樽球技場が創設

6 小樽球技場が創設

7 小樽球技場が創設

8 小樽球技場が創設

9 小樽球技場が創設

10 小樽球技場が創設

11 小樽球技場が創設

12 小樽球技場が創設

13 小樽球技場が創設

14 小樽球技場が創設

15 小樽球技場が創設

16 小樽球技場が創設

17 小樽球技場が創設

18 小樽球技場が創設

19 小樽球技場が創設

20 小樽球技場が創設

21 小樽球技場が創設

22 小樽球技場が創設

「商都」小樽 新時代へ

8月に市制施行100年



有志が夏フェス企画

小樽市は今年8月1日、市制施行100年の節目を迎える。1922年(大正11年)、札幌、旭川、函館、室蘭、釧路とともに道内初の市の一つとなり、商都としての隆盛と衰退を経、小樽運河を中心とした樽市へと姿容を遂げた。これまでの100年を次の100年へとつなげていくのか。市は記念式典開催や記念冊子作成を計画。民間主体でも、歴史・文化あふれる取り組みを受け継ぎ、若世代を引きつづける取り組みが始まっている。

(平田果人、谷本雄也、久慈陽太郎)



若者が戻るマチに

市制施行100年を機に市内を盛り上げようと、地元有志でつくる実行委員会が、小樽運河周辺で野外フェスを開催し「オールド・マウンテン」をテーマにしたイベントを開催する。100周年の記念イベントだが、運河完成100年を迎える来年には、かつて運河保存運動をきっかけに若者が立ち寄り、賑わった「オールド・マウンテン」を再現する。若者が戻って来たいと思えるマチにしたい。(実行委)と準備を進めている。

小樽市は、市制施行の翌、23年(大正11年)に小樽運河が整備されると、明治から昭和初期にかけて日本最大の港商都都市として発展した。小樽はかつての「小樽運河を擁するまち」として、66年には運河を埋め立て、レジャー作家小林多喜二は「小樽運河を擁するまち」としてこの時期を回顧し「故郷の顔で北海道の心臓みたいなの都会である」と記した。古くからの積み出した港としての役割も果たしていたが、関のエネルギー競争を経て、84年に橋渡しされた。

① 小樽運河を擁するまち
② 小樽運河を擁するまち
③ 小樽運河を擁するまち
④ 小樽運河を擁するまち
⑤ 小樽運河を擁するまち
⑥ 小樽運河を擁するまち
⑦ 小樽運河を擁するまち
⑧ 小樽運河を擁するまち
⑨ 小樽運河を擁するまち
⑩ 小樽運河を擁するまち

孝弘(詩)が運河開削半分を埋め立てる案の支持を表明し、86年に埋め立て工事が完了した。「戦争」で小樽の名が全国に広がり、運河と右衛門屋敷が観光スポットとなるなど観光都市へと発展。市は歴史的建造物を生かす方向に力を切った。道後市市長は「これに近代建築物件が集結しているマチは他に例がない」と評す。

この強みをしっかりと生かしていきまわつて進んでいきたい」と話す。

市は10月に市制100周年を記念式典を開催する予定。本来は8月1日が市制施行日だが、任期満了に伴う市長選が7月31日公示、8月7日開票で行われるため、開選時期を待たせ、記念冊子の作成も計画している。

① 新たに設置された「オールド・マウンテン」
② 小樽運河のメンパー
③ 小樽運河のメンパー
④ 小樽運河のメンパー
⑤ 小樽運河のメンパー
⑥ 小樽運河のメンパー
⑦ 小樽運河のメンパー
⑧ 小樽運河のメンパー
⑨ 小樽運河のメンパー
⑩ 小樽運河のメンパー